

## 第2学年 特別活動 学習構想案

日時 令和7年11月21日(金) 第5校時

場所 2年1組教室

指導者 教諭 米村 綾途

### 1 単元構想

単元名	自分のみのまもり方をみにつけよう		
内容の まとまりの 目標	(1)地震や水害などの自然災害の発生時における、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。 (2)自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。 (3)自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。		
単元の 評価 規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①地震によって起こりうる被害について予想し、安全に避難するための知識や行動の仕方を身に付けている。	①地震が起きたときの自己の行動について知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った避難の仕方を意思決定し実践している。	①地震が起きたときに安全に避難するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで避難行動を実践しようとしている。
単元終了時の児童の姿（題材のゴールの姿・期待される姿）			
地震が起きたときの身の守り方について、危険を予測して、日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、安全な避難行動を実践しようとする児童			
単元を通した学習課題（題材の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
お家のみんなをたすけるぞ めざせ！ぼうさいマスター		地震が起きたときに、自分の命を守るための方法や行動について考え、安全に行動しようとする。	
指導計画と評価計画（一連の活動と評価）			
日時	形態	学習活動	評価の観点等 <small>★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」</small>
7月17日 2校時	学級 全員	○ 環境整備の観点から、教室の中で危険なものや場所を考える。	★【知①】（発言・ワークシート） ○教室内の危険個所を見付けようとしている。
10月1日 5校時	学級 全員	○ 7月の学習から、教室の環境をどのように整備すれば危険なものや場所が減るかを考える。	★【思①】（発言・ワークシート） ○教室内の危険個所の改善が必要であることに気付き、どのように改善すればよいか考え発言したり書き出したりしている。
11月5日 2校時	学級 全員	○ シェイクアウト訓練において、地震を想定して避難行動をとる。	【態①】
11月21日 5校時 (本時)	学級 全員	○ シェイクアウト訓練での自分たちの避難行動を振り返り、安全な避難の仕方を考える。	★【思①】（発言・ワークシート） ○訓練を振り返り、安全な避難行動をとるにはどうすればよいかを考え、発言したり書き出したりしている。
1月14日 休み時間	学級 全員	○ 自分たちで考えた避難行動をもとに、地震火災避難訓練に取り組む。	【態①】（観察）
2月4日 休み時間	学級 全員	○ 地震火災避難訓練において、児童だけで避難行動をとる。	★【態①】（観察） ○今までの学習を振り返り、進んで児童だけでの避難行動をとろうとしている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所				
小学校学習指導要領〔学級活動〕内容（２）ウ 「現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。」				
単元の価値				
本単元は、「自分のみのまもり方をみにつけよう」である。避難訓練などを通して、自然災害が起きたときに自分がとるべき行動について考え、状況を判断して、安全な行動ができるようにするものである。今後、子ども防災士の資格を取るために、２年生では「自分の身は自分で守ること」を目標にする。				
本単元における系統				
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（児童数：17人）				
調査内容	とても	まあまあ	すこし	ぜんぜん
自分の思ったことははっきり言える。	2	6	8	1
自分はいろいろな考えが思い浮かぶ。	7	7	1	2
友達の前で発表するのは得意である。	3	5	6	3
■本単元の学習に関する意識の状況（児童数：17人）				
調査内容	とても	まあまあ	すこし	ぜんぜん
地震の揺れを感じたことはありますか。	4	4	4	5
地震が起きたときにはどうしていますか。（複数回答・記述式）	・頭を隠す4名 ・机の下に隠れる7名 ・机の下で頭を隠す5名 ・ふとんに隠れる6名 ・家族と避難する、テレビやニュースを見る ダンゴムシのポーズ、落ちてくるものから離れたり、押さえたりする 各1名ずつ			
地震の写真や動画を見ると怖いと感じますか。	8	4	3	2
地震が起きたとき、身を守ることができていると思いますか。	7	6	4	0
■考察				
本学級の児童は、「自分の思ったことははっきり言える。」に対して、「少しだけ・ぜんぜん」と答えた児童が9人いる。また、「友達の前で発表するのは得意である。」に対して、「少しだけ・ぜんぜん」と答えた児童が同じく9人いる。				
7月のアンケートの結果から、地震や水害に対して不安を感じている児童が約6割程度おり、災害への関心が高いところが見られる。しかし、自分で命を守る方法や手段を知らないと答えた児童が4割いる。また、地震の揺れを感じたことがある児童が5割程度しかおらず、実際の地震の揺れがわからない中で、身の守り方を考えており、自分事としての意識は薄いと考えられる。そのため、実際に地震が起きたときには、思っている行動がとりづらいことを考えられるようにする。避難訓練などで、なんとなく机の下に隠れるのではなく、なぜ机の下に隠れるのかを理解し、状況によって判断して行動していく必要がある。そこで、地震発生時の被害について考え、地震発生時の安全な行動について児童一人一人が考え理解することで、自分の命を自分で守ることができるようにする。				

## 3 指導に当たっての留意点

本校の校内研究のテーマは、『状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する児童生徒の育成』である。

【視点1】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て1：単元配列表を作成し、各教科横断的な学びになる工夫

○地震発生時の行動について、日常生活と関連付けて考えることができるよう、他教科の学びを生かしながら学びを深められるようにする。

手立て2：子供が問いをもち、主体的に学ぼうとするための資料提示や課題設定の工夫

○避難訓練の映像などを提示し、自分たちの課題を客観的に見つけることができるようにし、問いをもたせる。

手立て3：子供が自らの意思で表現したり、行動したりする場の設定

○単元を通して話し合い活動を取り入れ、様々な意見と交流し、自らの考えを深めることができるようにする。

○考えたことをもとに、実際に地震が起きたことを想定して安全な避難行動ができるようにする。

4 本時の学習

(1) 目標 避難訓練を振り返り、教室以外で地震が起きたときの安全な行動について考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	12分	1 本時の課題をつかむ。 ①本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【めあて】教しついでにじんがおきたときのみのももり方を考えよう。</b> </div> ②自分たちの避難の仕方を映像で振り返る。 ③地震のVR映像を見て、思ったことを出し合う。 ◇地震で揺れると怖い。 ◇歩けないくらい揺れる。 ◇ガラスが割れて怖い。	○自分たちの避難の仕方を客観的に振り返ることができるようにする。 ○シェイクアウト訓練を映像で振り返り、自分たちの行動について気付きを出し合うようにする。
展開	23分	2 課題解決に向けて活動する。 ①自分たちの避難の仕方について課題を出し合う。 ◇話しながら避難している。 ◇ホワイトボードの近くでしゃがむのは危ない。 ◇窓が割れるかもしれないから危ない。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>【共通実践事項1】</b> </div> ②どのように身を守ればよかったのかを考える。 ◇倒れたり、落ちてきたりするものから離れて身を守る。 ◇窓から離れて身を守るといいんじゃないかな。 ◇話をせずに、静かに避難をするとよいのかな。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【期待される学びの姿】</b>                      教室外での危険なものや場所に気付き、友達との交流を通して、安全な避難行動について考えようとしている。                 </div> ③考えたことを全体で共有する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>【共通実践事項2】</b> </div> ④GTに自分たちの考えに対して、アドバイスを伝えてもらう。	○写真をもとに、自分たちの課題は何かを考えられるようにする。 ○ペアで意見を交流し、考えの共通点・相違点に気付き、考えが深まるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【具体的評価規準】思考力・判断力・表現力</b>                      ○訓練を振り返り、安全な避難行動をとるにはどうすればよいかを考え、発言したり書き出したりしている                      (方法：発言・ワークシート)                 </div> 【到達していない児童への手立て】 ○映像から、どんな危険があるかを考え、安全な避難行動について考えられるようにする。 ○GTの消防士の方の話をもとに、身の守り方の確かめをする。
終末	10分	3 本時のまとめと振り返りを行う。 ② まとめを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【まとめ】</b>                      本気でみをまもるには、ガラスなどあぶないところから頭をまもったり、ゆれがおさまったりしてからひなんするとよい。                 </div> ②今日の学習の振り返りを行う。【共通実践事項3】 ◇次の避難訓練のときは、今日のことを考えて避難してみよう。 ◇本当に地震が起きたら、頭を守ればいいことがわかったよ。	○本時の学習課題を確認し、その課題の解決につながるまとめを行う。 ○振り返りの視点④(生活で生かしたいこと)をもとに、振り返りを書くようにする。

## 【板書計画】

### 自分のみのまもり方をみにつけよう

#### めあて

教しついでじしんがおきたときのみのまもり方を考えよう。

- ・しずかにできていた
- ・みをまもれていた
- ・どうすればよいか考えられた

#### 学習課題

本気でいのちをまもるためには、どうしたらいいのだろう。

写真

写真

写真

写真

写真

写真

#### 単元を通した学習課題

お家の人をたすけるぞ めざせ!ぼうさいマスター

- ◎どのようにみをまもればよかったのかな。
- ・まどからはなれたところでしゃがむ
  - ・頭をまもるようにする
  - ・たおれてきたり おちてきたりするものからはなれる
  - ・こまってる友だちに声かけをする
  - ・話さずひなんする

#### まとめ

本気でみをまもるには、ガラスなどあぶないところから頭をまもったり、ゆれがおさまったりしてからひなんするとよい。

#### ふりかえり

## 【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

- 導入での課題をつかむための動画や画像の提示
- 教室外の写真などの資料の提示

※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など（シーンに応じて活用計画を立てる）